

【学校教育目標】・「当小っ子の力」を身に付ける子・人と交流し、思いを共有できる子・未来を語り、行動を起こす子



自ら学び、考え、行動する当小っ子

～発揮しよう「当小っ子の力」～



学校 HP

いつも笑顔で頭を下げる子 & 今年度の全国学力・学習状況調査より

校長 松川 弘

子どもに教えられています

これまでも当小っ子の良さを様々な場面で感じてきましたが、授業中に各教室を回るといつも笑顔で頭を下してくれる子がいます。なんともうれしく、かわいらしい姿です。もちろん日頃の家庭のしつけの賜物であることは言うまでもありませんが、それに加えて、子ども自身の「自然なふるまい（内面からあふれ出る姿）」として表れているように思います。私は他の方々から「黙っていると怖い」と言われるので、努めて笑顔で接するようにしてきました。しかし、この子の姿に触れるたび、努力してつくる笑顔ではなく、自然と笑顔が出るようありたいと改めて感じさせられます。

この子はとても魅力的で素敵で、人に好印象を与えます。人から好かれることは間違いないでしょう。私はまもなく役職定年を迎えますが、今まさに子どもたちから大切なことを教えてもらっています…。

今年度の全国学力・学習状況調査より

さて、今年度の全国学力・学習状況調査では、国語・算数・理科ともに全国平均より6~7ポイント上回りました。本校が積み重ねてきた教育活動の成果であると感じています。児童質問紙の結果をもとに分析すると学力の背景である子どもたちの学習環境の質の高さが見えてきました。

- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか？
→「当てはまる」と回答したのは70%越え（全国平均50%弱）
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気づいたりすることができますか？
→「当てはまる」と回答したのは70%越え（全国平均約40%）
- いじめはどんな理由があってもいいことだと思いますか？
→「当てはまる」と回答したのは100%（全国平均約80%）
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか？
→「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答したのは100%、（全国平均約90%）

これらの結果は「普段の学校生活そのものが学力を支えている」ことを裏付けています。「学級やグループで話し合う活動」は仲間づくりに役立つだけでなく、互いに意見を聞き、自分の考えを深める力につながります。自分の考えを声に出してアウトプットすることで、考え方方がはっきりとして記憶に残ります。「いじめはどんな理由があってもいい」という共通理解がある安全な環境であれば、自由に発言ができ、友達が聞いてくれているということから意欲も向上します。また、子どもにとって「先生は、よいところを認めてくれている」という信頼と安心感があると子どもたちの意欲は一層向上します。これらの日常的な背景が学力にも反映されたものと考えています。全国学力・学習状況調査は6年生のみの実施ですが、全学年において担任・支援員が子どもの良さを「認め・褒め・励ます」かわりを丁寧に続けています。

冒頭のように、小学生に教えられている校長ですが、子どもたちと教職員スタッフの姿勢を誇りに思っています。

＜当麻町の小中一貫教育＞

義務教育終了時の姿 ふるさとに誇りをもち、仲間とともに未来を切り拓く子ども

12月	<生活目標> 整理整頓を心がけよう！
帰宅時刻 16:00	<家庭学習> 自分なりの計画を立てて、進んで取り組もう！
	<保健目標> 冬を元気にすごそう！
	<給食目標> 好き嫌いをしないで食べよう！

■生涯学習フェスティバル【第3学年】■

11月1日（土）、当麻町で毎年開催されている「生涯学習フェスティバル」に、3年生が出演しました。当日は、多くのお客様を前に「リコーダー奏：かっこう」と、踊りを交えた「歌唱：CRYSTAL CHILDREN」を披露しました。子どもたちの生き生きとした姿に、会場から大きな拍手が寄せられました。フェスティバルではこのほか、当麻幼稚園・当麻中学校のステージ発表、町内サークルによる絵画・写真・陶芸・木工・手芸作品の展示、実際にものづくりに挑戦できる体験型プログラムなど、幅広い催しが行われました。地域の文化に触れ、学びを広げる貴重な機会となりました。



■■幼保小交流【第5学年】■

11月12日（水）、第5学年が当麻幼稚園・当麻保育園・トーマス チャイルドの来年度入学予定の園児と交流しました。5年生が事前に準備した手作りゲームを使って、折り紙の魚釣り、的当て、ボーリングなど、さまざまなアトラクションと一緒に楽しみました。

活動中は、園児に寄り添いながら優しく声をかける5年生の姿が多く見られ、温かいひとときとなりました。最高学年を迎える来年度に向けて、責任感や思いやりの気持ちが確かに育っていることを感じられる交流となりました。



■■■イチイ学園との交流【第1学年】■

11月19日（水）、第1学年が生活科の学習の一環として、イチイ学園の皆さんと交流しました。秋に校庭で集めた松ぼっくりや枝を組み合わせてつくる飾りや、どんぐりコマづくりに取り組み、教室は秋の素材ならではの温かい雰囲気に包まれました。

イチイ学園の皆さんには、一つひとつ丁寧に作り方を教えてください、子どもたちも一緒にどんぐりコマを回して大いに盛り上がりいました。



■■■■授業改善：教職員研修■

11月27日（木）、北海道教育厅上川教育局学校教育指導班の先生方をお迎えし、学校教育指導訪問が行われました。当日は、3年2組の特別活動、5年2組の社会科の授業を参観していただき、子どもたちが主体的に学びを深める授業づくりについてご指導をいただきました。授業後の研修では、授業のよかった点や今後に生かせる視点について活発な意見交換がなされ、明日からの授業改善につながる多くの気づきを得ることができました。これからも、授業力の向上に向けた研修を継続し、子どもたちにとってより良い学びの場づくりに努めてまいります。



■■■■■12月行事予定■

1 月	幼小中連携協議会合同研修会	16 火	【ぐんぐん日課】
2 火	【ぐんぐん日課】教育課程推進会議	17 水	冬図書貸し出し（低）
3 水	参観日（2・4年）	18 木	【ぐんぐん日課】 研修日⑪
4 木	参観日（3・5年） ■学校運営協議会委員学校訪問	19 金	冬図書貸し出し（中）
5 金	参観日（1・6年） 陶芸（6年）	22 月	冬図書貸し出し（高）
9 火	研修日⑩ ※ぐんぐん日課なし	23 火	【ぐんぐん日課】 分掌打合せ
11 木	【ぐんぐん日課】 職員会議	25 木	2学期終業式
学校閉庁期間 12/29（月）～1/4（日）		26 金	冬季休業開始 （20日間）